2018年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL55418B10）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ジンバブエ	D235 自動車整備		個別	新規	2年	・2019/2 ・2019/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

高等教育・科学・技術開発省

2）配属機関名（日本語）

マササ産業訓練校

3）任地（ ハラレ ） JICA事務所の所在地（ ハラレ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で 約 0.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

1982年に職業訓練校として設立された。現在では自動車科、電機科、機械科、木工科、建築科、ICT科がある。2002年に科学技術大学として昇格し、訓練のみならず研究開発が加わり、ニーズに合わせた新たなカリキュラムを導入した。2005年には産業訓練大学として位置付けられ、即戦力となる人材を輩出すべく教育が実践されている。国家資格取得コースのほか、短期コースも設けている。年間予算は320,000米ドル程度、過去にコンピュータ技術の青年海外協力隊(JV)の派遣実績がある。

【要請概要】

1）要請理由・背景

将来ジンバブエの産業を担っていく人材への協力(職業訓練分野への協力)はジンバブエでのJV活動の取り組みにおける重要課題の一つである。過去に派遣されていたJVの活動からも、配属先における日本の技術力への評価は高く、また当国における絶対的人材不足問題からも本要請となった。また、過去に派遣のJVの校内での美化活動などから、物をきれいに大切に使うという意識改革への期待も高い。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

国家資格取得コース、短期コースなどカリキュラムに沿い、主に以下の活動を行う。
1.自動車メカニックにかかる理論と実技のレッスン
2.自動車の電気設備にかかる理論と実技のレッスン
3.自動車ボディの修理(板金工)におけるレッスン
4.自動車塗装におけるレッスン
5レッスンの計画、試験監督、評価などへの協力

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ホイール調整機、ブレーキシュースキミング 各テスター、塗装ブース、リフト、各種工具

4）配属先同僚及び活動対象者

生徒200人程度 16-22歳
講師6名 30-45歳

5）活動使用言語

英語

6）生活使用言語

英語

7）選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士）

[学歴]：（大卒）　備考：講師として活動するため

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（実務経験）2年以上　備考：即戦力が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）　気温：（5～30℃位）　[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　電話可）　[水道]：（安定）

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.